

人生100年時代における社会参加マッチング施策の 検討に係る中間のまとめ（概要版）

内容	ページ
本取組の背景	1
区市町村向けアンケート調査結果まとめ	2
社会参加マッチング施策の対象と方向性	3
プラットフォームの機能（概要）	4
今後検討が必要な事項	5

令和4年8月

東京都 福祉保健局 高齢社会対策部 在宅支援課

本取組の背景

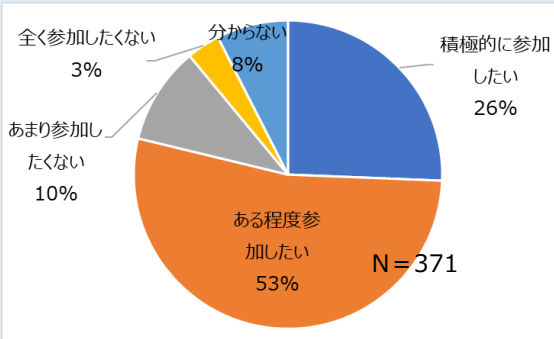
- 人生100年時代において、高齢者がいつまでも元気で心豊かに過ごすには、健康な状態をより長く維持することが重要である。そのためには、一人ひとりが、介護予防・フレイル予防に取り組むとともに、自らの希望に応じた仕事や学び、趣味、地域活動ができる機会を持ち続けられるよう、環境を整備していくこと等が求められている。
- 高齢期は従来の「余生」ではなく、「第二の人生の到来」又は「現役期間の延長」へと変化している。高齢期の様々な生活の態様や、加齢に伴う変化に対応していけるよう、プレシニア期から生涯を通じた、その人に合ったライフキャリア（経験を踏まえた人生設計・生き方）の支援が必要となっている。

【課題】

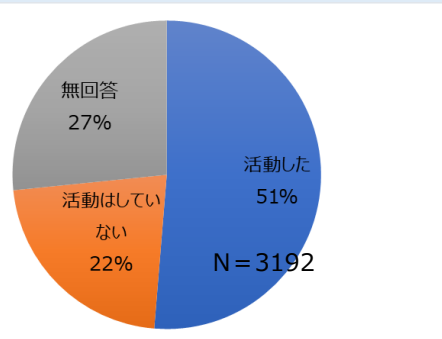
- 現状、多くの高齢者に70歳以降も就労や地域活動等への参加の希望がある一方で、こうした社会参加の意欲が実際の活動に結びついていないといった状況が存在。
- また、都内区市町村においては、高齢者の社会参加の促進について、「きっかけづくり」「ボランティアとボランティア受入れ施設とのマッチング」等が課題として挙げられており、地域活動の担い手が高齢化し、不足している状況がある。

【参考：社会参加意欲と実際の参加状況の乖離】

■ 定年退職後の地域活動等への参加希望者：約8割



■ 社会参加活動をしている高齢者の割合：約5割



■ 社会参加しない理由（主なもの）：

- ✓「きっかけがないから(20.9%)」
- ✓「興味のある活動内容がないから(15.5%)」
- ✓「仲間がないから、一人で参加することに抵抗があるから(14.2%)」
- ✓「活動の情報がないから(10.5%)」

【参考：地域活動の担い手の高齢化・不足】

■ 高齢者の社会参加促進の課題（主なもの）：

- ✓「老人クラブ会員、ボランティア等の担い手の高齢化・不足」
- ✓「高齢者が地域活動に参加するきっかけづくり」
- ✓「ボランティアとボランティア受入れ施設とのマッチング」

出所：東京都福祉保健局「在宅高齢者の生活実態調査」（令和元年12月）、インターネット福祉保健モニターアンケート結果、区市町村アンケート結果

区市町村向けアンケート調査結果まとめ

＜マッチング事業全般＞

- シニア・プレシニアと社会参加活動のマッチング事業を実施している区市町村が全体の1/4程度にとどまっていることや、実施している区市町村においても地域外の情報を把握できることは有効であるという意見があることを踏まえると、社会参加活動の更なる促進に向けて、都が広域的なマッチングの仕組みを整備する等区市町村を支援することが効果的・効率的だと考えられる。

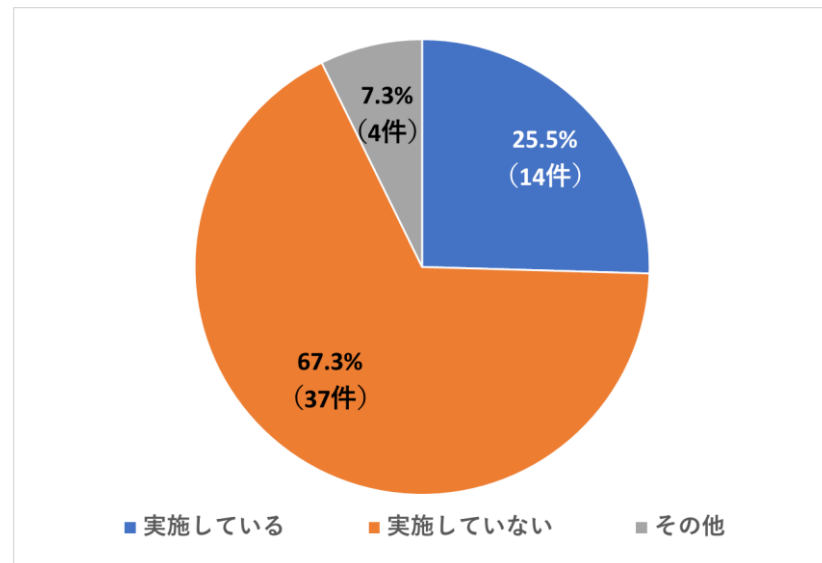
＜相談支援＞

- 生活支援体制整備事業等の一環として、マッチング支援や総合的な相談支援窓口を提供している区市町村も存在しており、既存の類似事業との棲み分けや連携のあり方の検討も必要と考えられる。
- マッチング事業を行うにあたって必要な支援としては、コーディネーターの確保・育成に対する支援を求める割合が8割程度あることから、都として適切な支援を行っていく必要がある。

＜オンラインプラットフォーム＞

- 都のWebサイト（オンラインプラットフォーム）構築に向けては、団体や関係機関との調整の必要性も指摘されており、区市町村、団体、関係機関、都の役割分担や仕組みの整理が必要と考えられる。
- 既存のwebサイトとの情報連携にあたっては、自動で情報を転送する等、効率的な実施が求められている。

【シニア・プレシニアと社会参加活動のマッチング事業の取組状況】

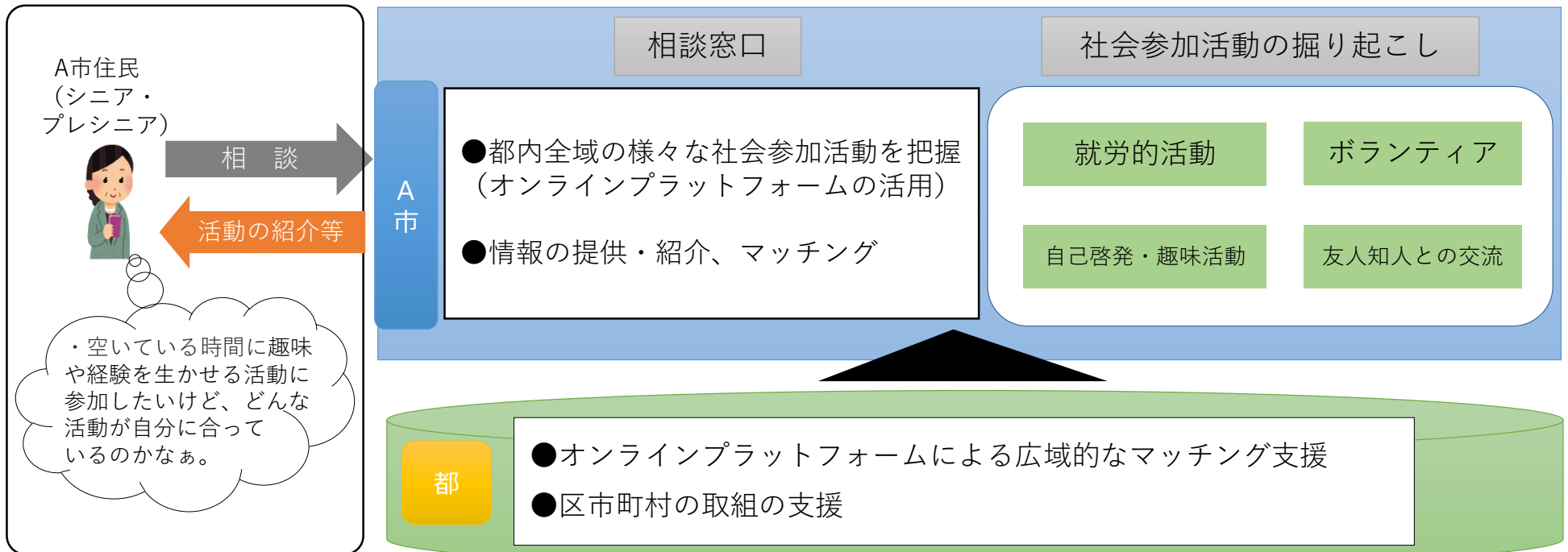


【マッチング事業を行うにあたって必要な支援（複数回答可）】

		n	%
財政支援	相談支援や社会参加活動の掘り起こしを行うコーディネーターの確保に対する財政支援	42	76.4%
	Webサイトの構築や保守に関する財政支援	24	43.6%
	相談支援窓口、社会参加活動の情報収集、webサイト等の広報に対する財政支援	26	47.3%
技術的支援	相談支援や社会参加活動の掘り起こしを行うコーディネーターの育成に対する研修等の支援	39	70.9%
	Webサイトの構築や保守に関する技術的支援	17	30.9%
	相談支援窓口、社会参加活動の情報収集、webサイト等の広報に対する技術的支援	24	43.6%
その他		6	10.9%
合計		55	

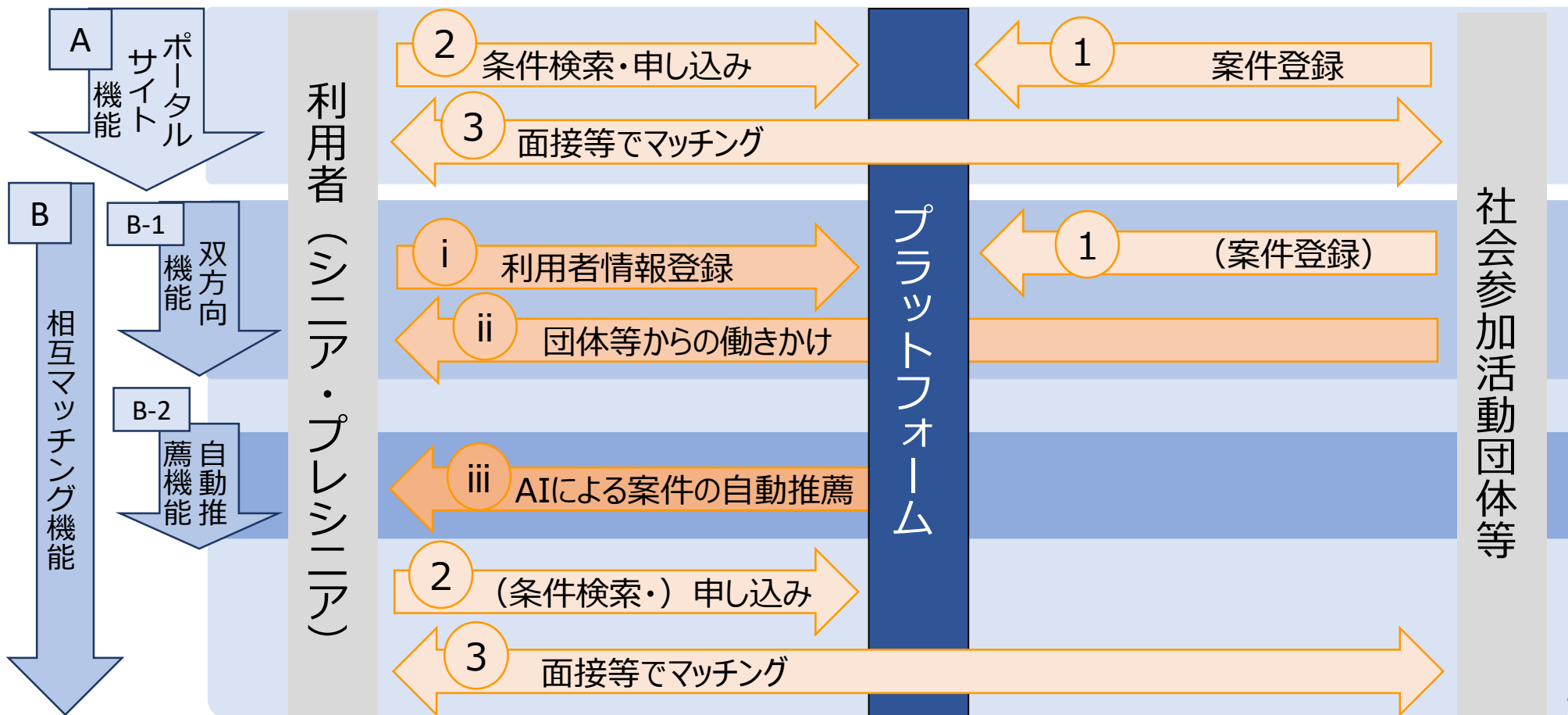
社会参加マッチング施策の対象と方向性

- ・ 漠然とした社会参加の希望を持つが、どんな活動に参加したいか定まっていないシニア・プレシニアを対象とし、具体的な活動とのマッチングを図る事業を推進する。
- ・ 区市町村は、コーディネーターを配置し、シニア・プレシニアに対して、これまでの経験や興味を掘り下げていく丁寧な相談支援（コンシェルジュ的な機能）を行うとともに、就労的活動、ボランティア、自己啓発・趣味活動、友人知人との交流等の様々な社会参加活動の掘り起こしを実施
- ・ 東京都は、区市町村の取組を支援するとともに、広域的なマッチングを促進するため、都内全域の様々な社会参加活動の情報を一元的に集約したオンラインプラットフォームを構築
- ・ なお、具体的な活動への参加希望があるシニア・プレシニアについては、活動別に設置された既存の窓口やwebサイトの活用を想定している。例えば、週4～5日で就労を行いたい方は、ハローワーク、東京しごとセンター、シルバー人材センター、アクティブシニア就業センター等、多様な既存の取組が活用できる。



プラットフォームの機能（概要）

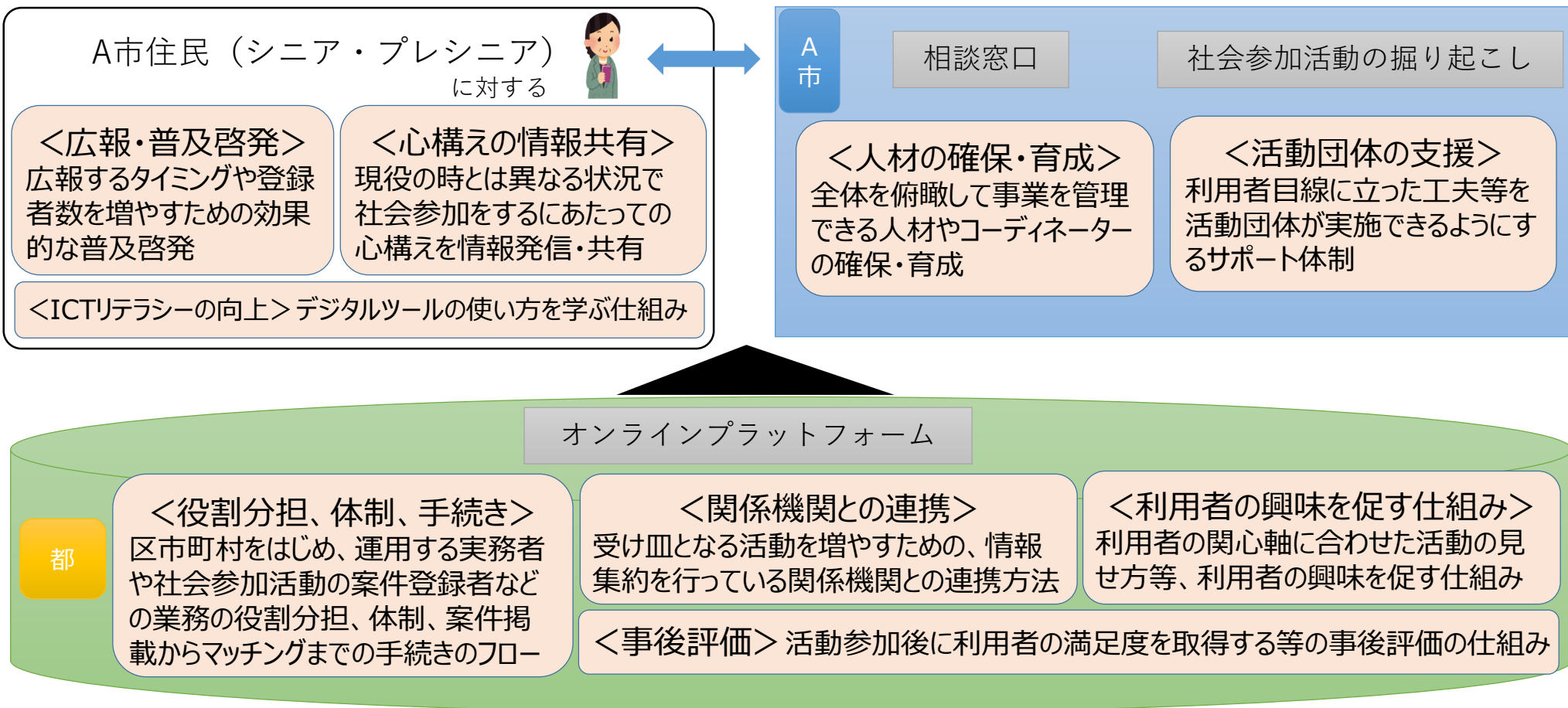
- プラットフォームの機能は（A）ポータルサイト機能、（B）相互マッチング機能に分類される。
さらに、相互マッチング機能は、（B）-1.利用者情報登録を行うことによって団体等からの働きかけを可能とする双方向機能と（B）-2.AIによる案件の自動推薦機能に分類される。
- 来年度はポータルサイト機能を有するプラットフォームを構築し、その後、活動の登録状況やシニア・プレシニアの利用状況等を踏まえてwebサイトに相互マッチング機能の追加を検討
- また、社会参加活動の情報を安定的に確保するため、既存サイトの情報の自動転送等による連携を検討



今後検討が必要な事項

- 第3回までの委員会での指摘事項をふまえて、今後以下のような点についての詳細検討をした上で、オンラインプラットフォームを活用したマッチング事業を具体化し、令和5年度以降のスケジュールを作成する。
- また、今後実施するシニア・プレシニア向けアンケート調査により、利用者のニーズや意向を詳細に把握する。

委員会での主な指摘事項



※複数の区分にまたがる事項については、最も関係の深い区分に記載